

北光会会長就任の御挨拶

鈴木 勝 王 (G-S44)



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症騒ぎもようやく落ち着きつつある中、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

さて、6月の紙上における北光会通常総会に置きまして、千葉到会長から引き継ぎ会長職に就任致しました鈴木勝王 (G-S44) です。石塚鈴雄副会長、藤川長敏副会長および進藤隆世事務局長他と協力して将来の発展に向けてより良い運営を行ってまいりたいと思いますので、ご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、通常総会も紙上開催が強いられ、移動や日常生活の制限、社会生活における分断などいろいろな社会現象が起こり、不自由な生活を余儀なくされました。

大学に置かれましても学園に集い、対面での受講、質疑応答が出来ず、予期せぬオンライン授業、テレワークなどが余儀なくされ不自由な学園生活が強いられました。

同様に、同窓会の活動も制限され、コロナとの共存を踏まえ、今後の活動に Zoom Meeting をどのように取り入れていくべきかについて検討しているところです。

当面の課題としては、2028年に北光会同窓会設立100周年を迎えますことから、既に各支部から選出されました2名の準備委員の方々と共に準備活動を進めてまいります。

2014年には、国際資源学部・理工学部が設立され、社会的に高い評価を受けています。やがて日本国内のみならず世界に羽ばたく学生達の一助となるべく、千葉前会長から提案のあった海外支部(仮称)の設立を検討してまいります。同窓会の会員の中には海外駐在や海外経験の豊富な会員が多数おりますので、必ずやお役に立てるのではないかと確信しております。

また、前々会長の鈴木功氏が提案された「技術相談システム」は、どのようにして発展させていけば果実を得ることが出来るのか、皆様のお知恵を拝借しながら検討してまいります。

産業革命以降、幾多の技術革命が積み重ねられてきましたが、さらに近年はIT技術の応用でスピードが加速されているのみならず、アプローチの方法も劇的に進展しています。これに対応するべく日々チャレンジしている大学に、いささかなりともご支援出来るような体制を目指していきたいと思料しております。

同窓会会員のご健康を祈念するとともに、会員各位のさらなる発展を祈念して、会長就任の御挨拶に代えさせていただきます。